

1. 使用前に

1. ご注意

ここに示す注意事項をよく読んでください。



・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

ここに示す注意事項をよく読んでください。



・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

ここに示す注意事項をよく読んでください。



・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

3. 電源

おひきのこ
ポータブル・ピアノ・ハラス

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。



PORTATONE PSR-47

ガイドブック
取扱説明書

2. 電源立ての立て方

ここに示す注意事項をよく読んでください。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

・本製品の電源は、ACアダプターまたは乾電池で動作します。

YAMAHA

このたびは、
ヤマハ・ポータートーンPSR-47を
お買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。

この取扱説明書の見方

本書は、PSR-47の豊富な機能、操作方法を理解しやすいように、
少しずつステップを踏んで読んでいただけるような構成になっています。
従って、基本的には前の方から順にご覧ください。
また、次のような見方をされるのもアイデアです。

●全てをご理解いただいた後は……

“もくじ”のページを開き、目的に合った所をさがす。

●ボタン等のはたらきが分からなくなった時……

“各部の名称とはたらき”を開いて調べる。

さらに詳しく知りたい時は、そこに記載してある参照ページを
見る。



もくじ

1. ご使用の前に	ページ	4. ステップ2(活用編I)	ページ
1. ご注意	2	1. フィンガードコードで演奏	17
2. 譜面立ての立て方	2	・練習曲(ラブ・ミー・テンダー)	18
3. 電源のしたく	2	・フィンガードコード一覧表	19
2. 各部の名称とはたらき	3	2. ソロスタイルでパフォーマンス(ソロスタイルプレイ)	21
3. ステップ1(基本編)		3. 打楽器を担当してしまおう(打楽器ボタン)	21
1. デモンストレーション曲を聴いてみよう	7	4. 自分の演奏を録音(ミュージックプログラマー)	23
2. 好きな音色で弾こう	8	・練習曲(とんぼ)	25
3. 音に効果を!(サスティン、ピッチベンド、 アンサンブル、デュアルボイス)	9	5. ステップ3(活用編II)	
4. 音程を変えるには?(トランスポーズ)	10	1. リズムパターンを作ろう(カスタムドラマー)	27
5. 他の楽器と音程を合わせるには?(ピッチ)	10	2. 他の機器と接続するには?	29
6. リズムに合わせて弾こう	11	3. MIDI機能でステップアップ	29
7. スプリット演奏をしよう	13	6. 資料	
・練習曲(青い影)	13	1. オプション(別売品)のご紹介	33
8. シングルフィンガーコードで楽々演奏	14	2. 仕様	33
・シングルフィンガーコード一覧表	15	3. おかしいな?と思ったら	34
		4. 発音数一覧表	34
		5. アフターサービスと保証	裏表紙

1.ご使用の前に

1.ご注意

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください。



- ・落としたり、物をぶつけたり、上に座ったりしないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

使わない時は…



- ・必ずパワースイッチを切ってください。
- ・電源アダプターを使用した場合は、家庭用コンセントから抜いてください。
- ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上には置かないでください。貼り付いてしまうことがあります。

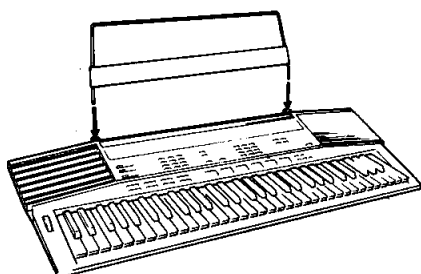
保管してください。



- ・このガイドブックをお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

2.譜面立ての立て方

付属の譜面立ては、コントロールパネル面上方にある2つの穴に足を差し込んでお使いください。



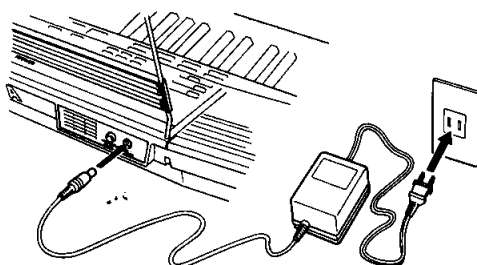
3.電源のしたく

PSR-47は、家庭用コンセントでも乾電池でも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んで準備してください。

家庭用コンセントから電源をとる場合

付属の電源アダプター・PA-4を使用します。図のように接続してください。

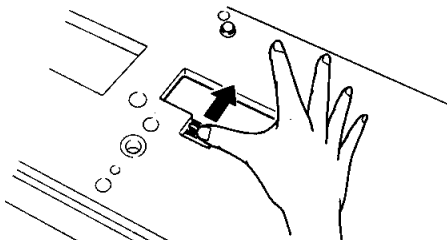
①リアパネルにある電源アダプター接続用端子(DC(9-12V)IN)へ差し込む。



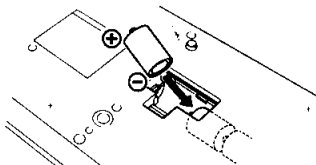
②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。
※他の電源アダプターは使わないでください。

乾電池を使う場合

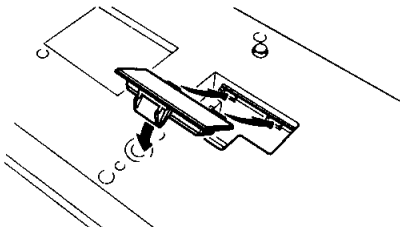
①PSR-47を裏返し、電池ブタを外します。



②市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。



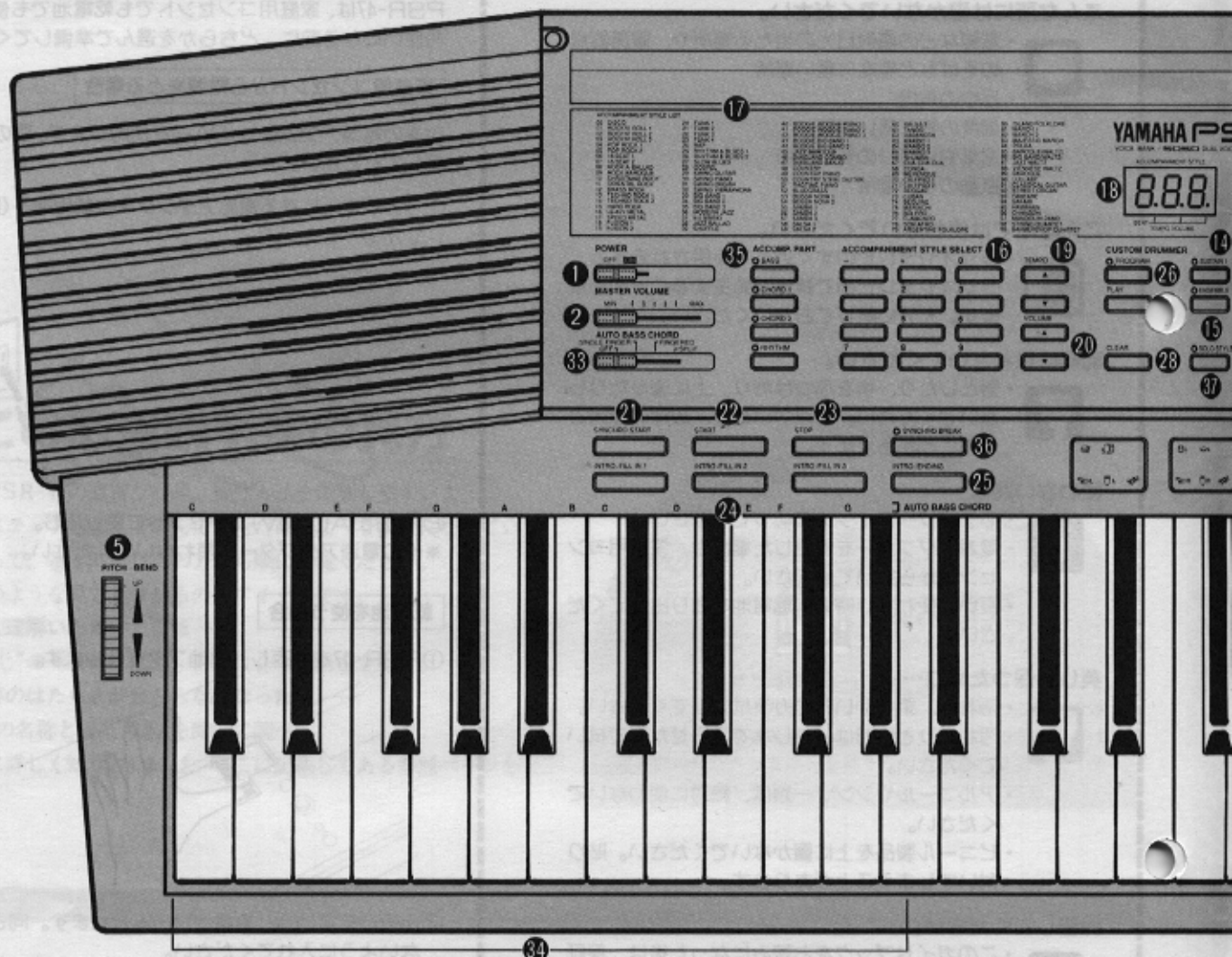
③乾電池を入れたら電池ブタを閉めます。



※電池が少なくなると、音が歪んだり、誤動作するようになります。このような時は、6本共新しいものと交換してください。

お買い求めの際、乾電池は単1乾電池6本とご指定ください。

2. 各部の名称とはたらき



全体のコントロール

- ① **パワースイッチ** (⇒7ページ)
電源を入れたり、切ったりするスイッチです。
電源を入れたら、②の[3桁LEDディスプレイ]に伴奏スタイル番号の00が、③の[2桁LEDディスプレイ]に音色番号の00が表示されます。
- ② **マスターボリューム** (⇒7ページ)
全体の音量を調節するためのレバーで、右の方にずらすほど音が大きくなります。
- ③ **トランスポーズコントロールボタン** (⇒10ページ)
トランスポーズ(移調)の量を設定するためのボタンです。
- ④ **ピッチコントロールボタン** (⇒10ページ)
発音のピッチ(音程)を微調整するためのボタンです。他の楽器や録音された音楽に音程を合わせることができます。
- ⑤ **ピッチベンドホイール** (⇒8ページ)
このホイールを回すことにより、発音のピッチ(音程)を一時的に変化させることができます。タイミングよく回して、演奏に変化をつけましょう。
※ギター演奏で耳にするチョーキングと同じような効果が得られます。

⑥MIDIボタン(⇒29ページ)

MIDI(ミディ)に関する設定は、このボタンを押しながら行います。

⑦デモンストレーションボタン(⇒7ページ)

デモンストレーション曲を聴きたい時は、このボタンを押すことによりスタートさせることができます。もう一度押すと止まります。

ボイス(音色)

⑧ボイスセレクトボタン(⇒8ページ)

100種類の中から音色を選ぶためのボタンです。-(マイナス)ボタンは、現在の音色よりも1つ小さい番号の音色にするためのボタンで、+(プラス)ボタンは、現在の音色よりも1つ大きい番号の音色にするためのボタンです。0~9のボタンは、音色を番号で指定する時に使用します。

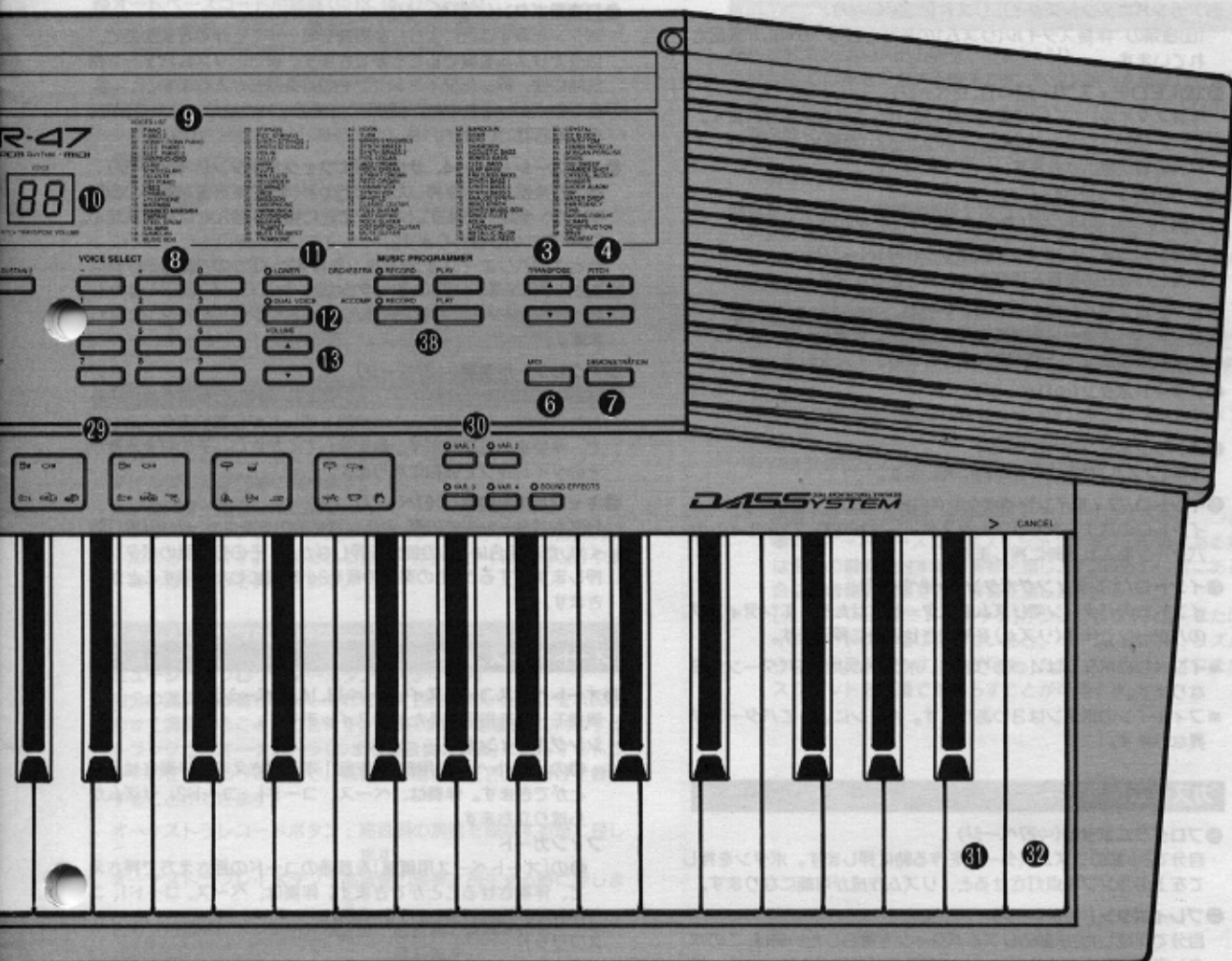
⑨ボイスリスト(⇒33ページ)

100種類の“音色の番号と名称”の対応が表記されています。

⑩2桁LEDディスプレイ(⇒8,10ページ)

音色の番号(00~99)が、ここに表示されます。ピッチ(音程)やトランスポーズ(移調)、ボリューム(音量)の設定時は、それらの値が表示されます。

⇒マークのところにくわしく説明してあります。



①ローボタン(⇒13ページ)

スプリット演奏時に使用します。スプリット演奏時には、このボタンを押してボタン左上のランプを点灯させてください。低音側の音色を指定できる状態になります。操作後、5秒経過すると高音側の音色を指定できる状態に戻ります。

※スプリット演奏とは?

①の[オートベースコードスイッチ]をスプリット(SPLIT)の位置にすることにより、スプリット演奏が可能になります。スプリット演奏は、オートベースコード用鍵盤を弾いた時と、それ以外(高音側の鍵盤)を弾いた時の音色を異なったものにできる機能です。音色の組み合わせは、自分で自由に指定できます。

②デュアルボイスボタン(⇒9ページ)

このボタンを押してボタン左上のランプを点灯させると、デュアルボイス演奏が可能になります。さらに、この状態ではデュアルボイスの音色を順に指定することができます。また、もう一度このボタンを押してランプを消灯させると、デュアルボイスの状態が解除されます。

※デュアルボイス演奏とは?

デュアルボイス演奏は、演奏に対して2つの音色が同時に(重なって)鳴る機能です。音色の組み合わせは、自分で自由に指定できます。

③ボイスボリュームボタン(⇒8ページ)

演奏音*1の音量を調節するためのボタンです。

④サスティン1/サスティン2ボタン(⇒9ページ)

このボタンを押してボタン左上のランプを点灯させると、演奏音に自然な余韻がつくようになります。なお、サスティン1よりもサスティン2の方が、余韻の長い効果が得られます。もう一度押してランプを消灯させると、効果が解除されて元の状態に戻ります。

⑤アンサンブルボタン(⇒9ページ)

このボタンを押してボタン左上のランプを点灯させると、演奏音が厚みのある音になります。もう一度押してランプを消灯させると、効果が解除されて元の状態に戻ります。

アカンパニメント(伴奏)

⑥アカンパニメントスタイルセレクトボタン(⇒11ページ)

100種類の中から伴奏スタイル(リズムの種類)*2を選ぶためのボタンです。-(マイナス)ボタンは、現在のスタイルよりも1つ小さい番号のスタイルにするためのボタンで、+(プラス)ボタンは、現在のスタイルよりも1つ大きい番号のスタイルにするためのボタンです。0~9のボタンは、スタイルを番号で指定する時に使用します。

2. 各部の名称とはたらき

① アカンパニメントスタイルリスト (⇒33ページ)

100種類の“伴奏スタイル(リズム)の番号と名称”の対応が表記されています。

② 3桁LEDディスプレイ (⇒11、12ページ)

伴奏スタイル(リズム)の番号(00~99)が、ここに表示されます。ビート(拍子)やテンポ(速さ)、ボリューム(音量)の設定時は、それらの値が表示されます。

③ テンポボタン (⇒11ページ)

伴奏(リズム)のテンポ(速さ)を調節するためのボタンです。

④ アカンパニメントボリュームボタン (⇒11ページ)

伴奏(リズム)の音量を調節するためのボタンです。

⑤ シンクロスタートボタン (⇒11ページ)

オートベースコード用鍵盤を押すと同時に伴奏(リズム)をスタートさせる場合は、このボタンを押します。

⑥ スタートボタン (⇒11ページ)

すぐにリズムをスタートさせる時に押します。

⑦ ストップボタン (⇒12ページ)

伴奏(リズム)を停止させる時に押します。

⑧ イントロ/フィルイン1~3ボタン (⇒12ページ)

イントロのパターンでリズムをスタートさせたり、フィルインのパターンを入れる時に押します。

⑨ イントロ/エンディングボタン (⇒12ページ)

イントロのパターンでリズムをスタートさせたり、エンディングのパターンで伴奏(リズム)を停止させる時に押します。

※イントロのボタンは4つあります。ボタンによってパターンが異なります。

※フィルインのボタンは3つあります。ボタンによってパターンが異なります。

カスタムドラマー

⑩ プログラムボタン (⇒27ページ)

自分で2小節のリズムパターンを作る時に押します。ボタンを押して左上のランプを点灯させると、リズム作成が可能になります。

⑪ プレイボタン (⇒28ページ)

自分で作成した2小節のリズムパターンを鳴らしたい時は、このボタンを押すことによりスタートさせることができます。もう一度押すと止まります。

⑫ クリアボタン (⇒27ページ)

リズムパターン作成の際、最初からリズムを作りたい場合はこのボタンを押します。これにより、それまで鳴らしていたリズムパターンを消してしまふことができます。

⑬ 打楽器ボタン (⇒21ページ)

ボタンを押すことにより打楽器音を鳴らすことができますので、自分でリズムを奏でることができます。また、リズムパターン作成時には、押したタイミングでその打楽器音が入ります。6つのボタンそれぞれに5種類の打楽器(うち1種類は効果音)が割り当てられています。

⑭ バリエーション1~4、サウンドエフェクトボタン (⇒22ページ)

⑬の打楽器ボタンを押した時にどの系列の打楽器音を鳴らすようにするか、指定できます。(ボタンごとに指定することはできません。6つ一度に切り替わります。)

たとえばバリエーション2ボタンを押すと、6つの打楽器ボタンは左から順に、バスドラム、ロータム(シンセ)、ミッドタム(シンセ)、ハihat(シンセ)、スネアドラム、ライドシンバルのボタンになります。

⑮ アクセント用鍵盤 (⇒27ページ)

リズムパターン作成時には、アクセント(強拍)の位置を指定するための鍵盤になります。この鍵盤を押しながら強拍のタイミングで、希望する打楽器ボタン⑬を押してください。その打楽器音が、そのタイミングで強拍になります。

⑯ キャンセル用鍵盤 (⇒27ページ)

リズムパターン作成の際、余分な打楽器の音をキャンセル(取り除く)したい場合は、この鍵盤を押しながら、その打楽器のボタンを押します。すると、その楽器の音を2小節間にわたり消すことができます。

オートベースコード

⑰ オートベースコードスイッチ (⇒13、14、17ページ)

演奏モードを指定するためのスイッチです。

シングルフィンガー

⑮の[オートベース用鍵盤]を指1本で押さえて、伴奏させることができます。伴奏は、ベース、コード1、コード2、リズムから成り立ちます。

フィンガード

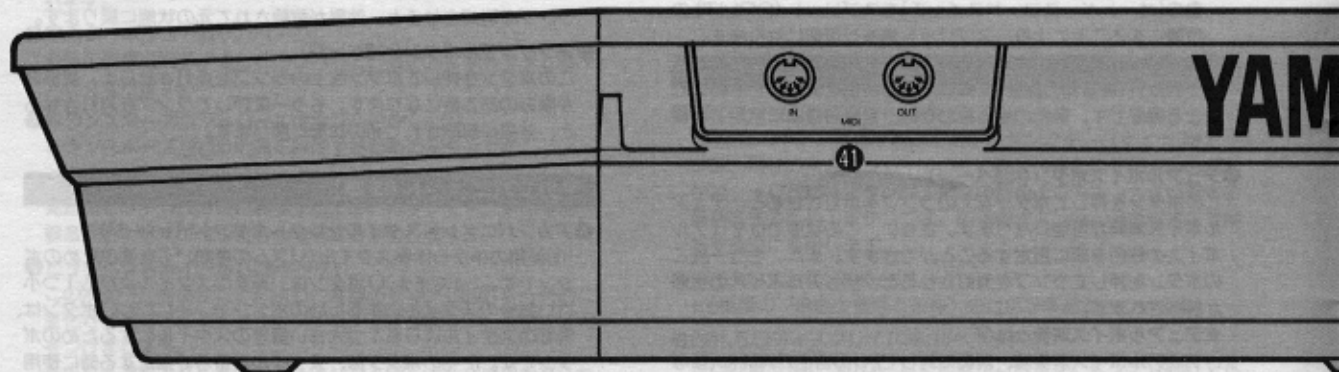
⑮の[オートベース用鍵盤]を普通のコードの押さえ方で押さえて、伴奏させることができます。伴奏は、ベース、コード1、コード2、リズムから成り立ちます。

スプリット

⑮の[オートベース用鍵盤]を弾いた時に鳴る音と、それ以外の鍵盤を弾いた時に鳴る音の音色を異なったものにできます。

オフ

3種類のどの機能も使わない時は、この位置にします。



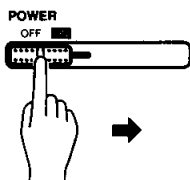
3. ステップ1 (基本編)

1. デモンストレーション曲を聴いてみよう

PSR-47にはお手本としてデモンストレーション曲が入っており、いつでも自由に聴くことができます。

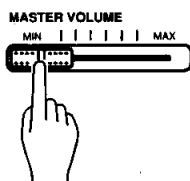
① パワースイッチをオン

パワースイッチをオンにして電源を入れます。電源を入れると3桁LEDディスプレイと2桁LEDディスプレイの両方に00が表示されます。



② 音量の調節

あらかじめマスターボリュームを右方向にスライドさせて、適当な音量になるようにセットしておきます。

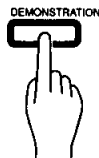


鍵盤を押して、音を出しながら調節してください。

大きくなる

③ スタート

デモンストレーションボタンを押して、曲をスタートさせます。



④ 停止

デモンストレーション曲は、繰り返し再生されます。停止させる時は、ストップボタンまたはデモンストレーションボタンを押してください。



★デモンストレーション曲は、止めるまで何回でも繰り返し自動再生されます。

★音色は、曲の進行に合わせて次々と切り替わります。

★音色の切り替えやテンポ変更、音程変更など、様々な設定変更が可能です。ただし、曲中の自動切り替えのところにくと、本来の設定に戻ります。

2.好きな音色で弾こう

PSR-47には100種類の音色があります。いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

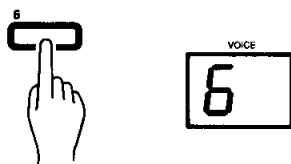
①音色の選択

00～99の100種類の中から、音色を選んでください。

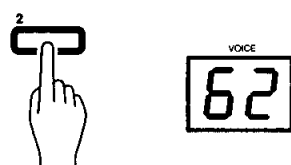
0～9ボタンで指定する場合

例)音色番号62の琴を選ぶ時は、

6を押して、



2を押します。



+/-ボタンで指定する場合



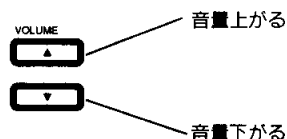
小さい番号の音色になる。 大きい番号の音色になる。
(+/-ボタンは、押し続けると連続的に変化します。)

★パワースイッチをオンにすると、音色は音色番号00のピアノ1になります。

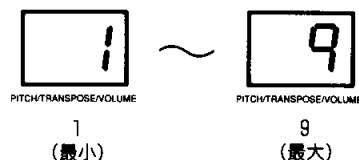
★99の状態で+ボタンを押すと00になり、00の状態でも-ボタンを押すと99になります。

②演奏音の音量調節

演奏音の音量はマスターボリュームの設定によっても変化しますが、ボイスボリュームボタンによる設定によっても変化します。必要であれば、ボイスボリュームボタンで音量調節してください。2桁LEDディスプレイを見ながら1～9の範囲で調節できます。



真ん中よりも少し右寄りにある方のボリュームボタンです。

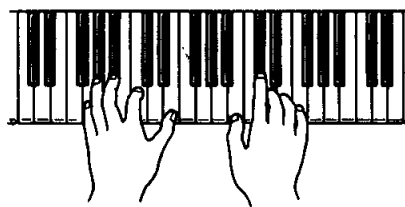


★操作後約3秒経過すると、この表示から音色番号表示に戻ります。

★パワースイッチをオンにした時は、いつも最大の9に戻っています。また、▲ボタンと▼ボタンを同時に押しで9に戻すこともできます。

③演奏

好きな曲を弾いてみましょう。



★いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

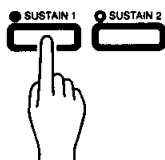
★同時発音数は8音(8音ポリフォニック)ですが、オートベースコード機能やスプリット機能をはじめ、リズムを使ったり、アンサンブル機能、デュアルボイス機能を使うと、同時発音数は少なくなります。(34ページ参照)

3. 音に効果を! (サステイン、ピッチベンド、アンサンブル、デュアルボイス)

PSR-47には、様々な効果があります。実際にオンにして確かめてみましょう。

●サステイン

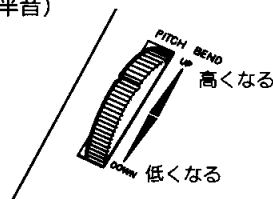
サステインは、演奏音の余韻を与える効果です。サステイン1またはサステイン2ボタンを押して、ボタン左上のランプを点灯させてください。効果がオンとなります(サステイン2の方が余韻の長い効果です)。



- ★サステイン1と2の両方を同時にかけることはできません。
- ★伴奏音およびリズム音には、サステイン効果はかかりません。
- ★余韻の長さは音色ごとに異なります。

●ピッチベンド

ピッチベンドホイールを回すことにより、演奏中の音の高さ(ピッチ)を上下させることができます。手を離すと中央(元の音程)に戻るしくみになっています。奥へ回すと音程が高くなり、手前に回すと音程が低くなります。約±200セントの範囲で上下させることができます。(参考: 100セント=半音)



- ★伴奏音およびリズム音、低音側の音には、ピッチベンド効果はかかりません。

●アンサンブル

音程が微妙に異なる2つの音が同時に鳴り、厚みのある音になる効果です。アンサンブルボタンを押してボタン左上のランプを点灯させると、効果がオンとなります。



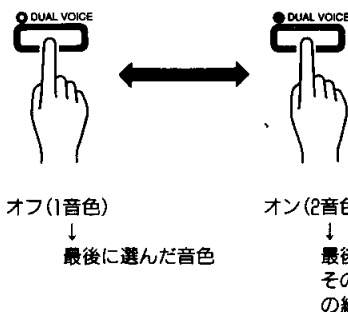
- ★伴奏音およびリズム音には、アンサンブル効果はかかりません。
- ★アンサンブル効果をオンにすると、演奏音の同時発音数はそれまでの半分になります。

●デュアルボイス

2つの音色を選んで同時に鳴らすことができる効果です。デュアルボイスボタンを押してボタン左上のランプを点灯させると、効果がオンとなります。組み合わせたい音色を順に指定してください。最後に指定した音色と、1回前に指定した音色の組み合わせになります。



- ★1曲の中で、デュアルボイスボタンを押してオンの状態を使い分けると効果的です。

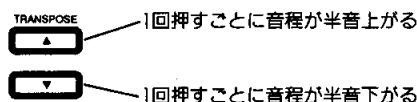


- ★伴奏音およびリズム音には、デュアルボイス効果はかかりません。
- ★デュアルボイス効果をオンにすると、演奏音の同時発音数はそれまでの半分になります。
- ★パワースイッチをオンにしてから一度も音色を切り替えていなければ、デュアルボイスの状態にした時、音色番号00 ピアノ1と99 オーケストラヒットの組み合わせになります。
- ★スプリット機能を併用した場合は、高音側と低音側それぞれに2音色ずつ音色指定できます。(13ページ参照)

4. 音程を変えるには？ (トランスポーズ)

トランスポーズコントロールボタンで音程を変えることにより、押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

2桁LEDディスプレイを見ながら、±6半音の範囲で設定できます。



★操作後約3秒経過すると、この表示から音色番号表示に切り替わります。

★つまり±6半音の範囲ですから、“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば値を5、つまり+5半音高くした場合は、



★パワースイッチをオンにした時は、いつも元の高さの0に戻っています。また、▲ボタンと▼ボタンを押して0に戻すこともできます。

★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキー(調)を合わせる時にも便利です。

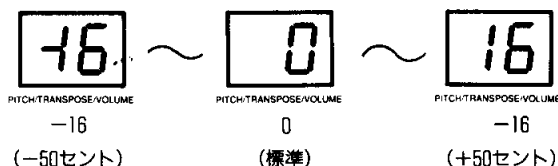
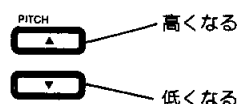
5. 他の楽器と音程を 合わせるには？ (ピッチ)

ピッチコントロールボタンにより、発音の高さ(ピッチ)を微調整することができます。つまり、合奏をする場合など、この機能により他の楽器と音程を合わせることができます。

±50セントの範囲、約3セントステップで設定できます。

(参考：100セント＝半音)

音を聴きながらこざざみに合わせてください。なお、2桁LEDディスプレイには-16～16で表示されます。



★ボタンを押し続けると、値が連続的に変化します。

★操作後約3秒経過すると、この表示から音色番号表示に切り替わります。

★パワースイッチをオンにした時は、いつも標準の0に戻っています。(0の時、A₄=440Hz) また、▲ボタンと▼ボタンを同時に押して0に戻すこともできます。

6. リズムに合わせて弾こう

PSR-47には100種類のリズムがあります。いろいろなリズムに切り替えて、それに合わせて弾いてみましょう。

①リズムの選択

00～99の100種類の中から、リズムを選んでください。

0～9ボタンで指定する場合

例)伴奏スタイル番号04のポップロック1のリズムを選ぶ時は、

0を押して、



4を押します。



+/-ボタンで指定する場合



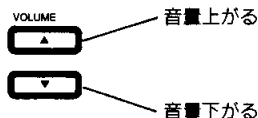
小さい番号のリズムになる。 大きい番号のリズムになる。
(+/-ボタンは、押し続けると連続的に変化します。)

★パワースイッチをオンにした時は、リズムは伴奏スタイル番号00のディスクになっています。

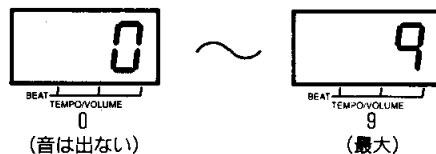
★リズムを2つ選んで、いっしょに鳴らすことはできません。

②リズム音の音量調節

リズム音はマスターボリュームの設定によっても変化しますが、アカンパニメントボリュームボタンによる設定によっても変化します。必要であれば、アカンパニメントボリュームボタンで音量調節してください。2桁LEDディスプレイを見ながら0～9の範囲で調節できます。



真ん中よりも少し左寄りにある方のボリュームボタンです。

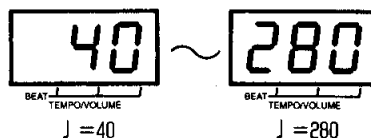
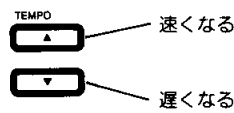


★操作後約3秒経過すると、この表示からリズム番号表示に戻ります。

★パワースイッチをオンにした時は、いつも最大の9に戻っています。また、▲ボタンと▼ボタンを同時に押して9に戻すこともできます。

③リズムの速さ指定

3桁LEDディスプレイで1分間の拍数を見ながら設定できますが、曲の速さが楽譜に書かれていない場合など、テンポがあらかじめ判らない時は、④の操作の後、実際に音を聴きながら設定してください。



★リズムごとに標準テンポが異なります。リズム停止状態でリズムを切り替えた場合は、切り替えたリズムの標準テンポになります。また、パワースイッチをオンにしたり、▲ボタンと▼ボタンを同時に押した場合も標準テンポに戻ります。

④リズムのスタート

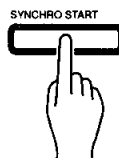
リズムをスタートさせます。スタート方法には大きく分けて3種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

・すぐにスタートさせる場合……スタートボタンを押す。



・演奏の開始と共にスタートさせる場合……

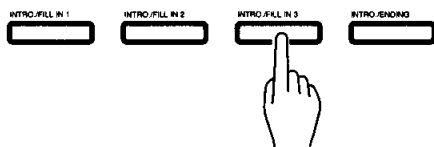
シンクロスタートボタンを押す。



シンクロスタート待ちの時、3桁LEDディスプレイ内の左端の点が4分音符のタイミングで点滅して、リズムの速さを示します。低音側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)を弾くとスタートします。

・イントロのパターンからスタートさせる場合……

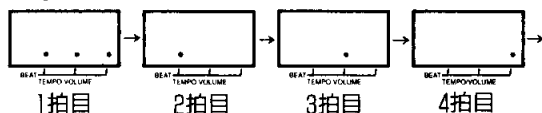
イントロ/フィルイン1～イントロ/フィルイン3、イントロ/エンディングボタンのいずれかを押す。



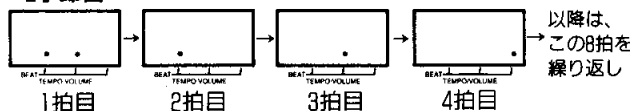
好みのパターンのボタンを押す。なお、イントロ/エンディングボタンを押した場合のイントロパターンは2小節、イントロ/フィルイン1～イントロ/フィルイン3ボタンを押した場合のイントロパターンは1小節です。

★リズムをスタートさせた後は、3桁LEDディスプレイ内の点が左から順に、1拍ごとに次のように点灯移動します。

1小節目



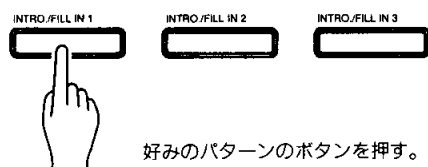
2小節目



★演奏中にシンクロスタートボタンを押すとリズムが止まります。そして、オートベースコード用鍵盤を弾くと再びリズムが鳴り出します。ブレイクの時に便利です。

⑤フィルイン

イントロ/フィルイン1～イントロ/フィルイン3ボタンを押すことにより、フィルインのパターンを入れることができます。



好みのパターンのボタンを押す。

★フィルインは、最長で1小節です(押すタイミングで長さが異なります)。また、押し続けるとフィルインのパターンが繰り返されます。

★フィルインパターンが鳴っている最中にもう一度押すと、その時点で普通のパターンに戻ります。

⑥別のリズムへの切り替え

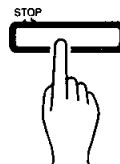
演奏中、別のリズムに切り替えることもできます。

★リズムを切り替えても、切り替え前のリズムのテンポが維持されます。

⑦停止

リズムを停止させます。停止方法には2種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

・すぐに停止させる場合……ストップボタンを押す。



・エンディングのパターンで停止させる場合……イントロ/エンディングボタンを押す。



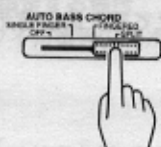
イントロ/エンディングボタンを押した小節から次の小節までエンディングパターンが鳴って停止します。エンディングパターンは2小節の長さです。なお、小節最後の1拍以降にイントロ/エンディングボタンを押した場合は、次の小節から2小節のエンディングパターンが鳴って停止します。

7. スプリット演奏をしよう

低音側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)を弾いた時と高音側の鍵盤を弾いた時に出る音の音色を、異なったものにして演奏できます。音色は自由に指定できます。

① スプリット演奏可能状態に

オートベースコードスイッチをスプリットの位置に切り替えます。



★スプリットの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

② 低音側の音色指定/音量調節を可能に

ローボタンを押して、



ボタン左上のランプを点灯させ、低音側の音色指定および音量調節をできるようにします。

③ 低音側の音色指定

低音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、ボイスセレクトボタンで指定します。音色番号は、2桁LEDディスプレイに表示されます。

★デュアルボイス機能もオンしている場合は、この状態で、低音側の2音色分を指定してください。続けて指定すればOKです。

★操作後約5秒経過すると、高音側の音色番号表示に切り替わります。

④ 低音側の音量調節

低音側の音量をボイスボリュームボタンで調節します(ローボタン左上のランプが点灯していると、ボイスボリュームボタンは、低音側の音量調節ボタンになります)。また、全体的な音量はマスターボリュームで調節します。

⑤ 高音側の音色指定/音量調節を可能に

ローボタンを押して、



ボタン左上のランプを消灯させ、高音側の音色指定および音量調節をできるようにします。

⑥ 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、ボイスセレクトボタンで指定します。

★デュアルボイス機能もオンしている場合は、この状態で、高音側の2音色分を指定してください。続けて指定すればOKです。

⑦ 高音側の音量調節

必要であれば、高音側の音量をボイスボリュームボタンで調節します。

★スプリット演奏状態にした場合は高音側の同時発音数は4音ですが、アンサンブル機能またはデュアルボイス機能を使うと同時発音数はこれよりも少なくなります。(34ページ参照)

★パワースイッチをオンにした時はいつも、高音側、低音側共に音色は音色番号00のピアノに戻っています。

● 練習曲

青い影 (A WHITER SHADE OF PALE)

作曲: K. Reid & G. Brooker

● セッティング

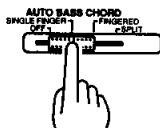
リズム	テンポ	オートベースコード	低音側音色	高音側音色
05 ポップロック2	♩ = 92	スプリット	66 エレクトリックベース1	46 ジャズオルガン

8. シングルフィンガーコードで楽々演奏

シングルフィンガー機能を使うと、コードを押さなくても、簡単に和音+ベース音を鳴らすことができます。たとえばメジャーコードなら指1本で、その他のコードでも2,3鍵押さえるだけでOKです。和音+ベース音はオートベースコード用鍵盤を弾いて鳴らします。さらにこの状態でリズムをスタートさせると、和音+ベース音だけでなく、ベース音、和音(コード)1、和音(コード)2、リズム音から成る自動伴奏を鳴らすことができます。

① シングルフィンガーコード演奏可能状態に

オートベースコードスイッチをシングルフィンガーの位置に切り替えます。



★シングルフィンガーの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

② 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、ボイスセレクトボタンで指定します。

★デュアルボイス機能もオンしている場合は、この状態で、高音側の2音色分を指定してください。続けて指定すればOKです。

★低音側(オートベースコード用鍵盤)を弾いた時に鳴る音の音色は、指定したリズムの種類によって自動的に決まります。

③ リズム番号の指定

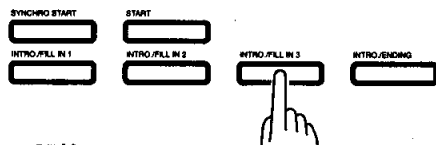
和音だけでなく、その他伴奏音全てを鳴らす場合は、リズム番号(伴奏スタイル番号)を指定します。

④ 音量調節

低音側の音量はアカンパニメントボリュームボタンで、高音側の音量はボイスボリュームボタンで調節します。また、全体的な音量はマスターボリュームで調節します。

⑤ スタート

自動伴奏を鳴らす場合は、スタート方法を選択します。



⑥ 演奏の開始

演奏を開始します。なお、自動伴奏は低音側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)を押した時点でスタートします。

★ 鍵盤の押し方

メジャーコードの場合

根音の鍵盤を押します。たとえばコードCの場合なら、



Cの鍵盤を押します。

マイナーコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC_mの場合なら、



のように押します。

セブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC₇の場合なら、



のように押します。

マイナーセブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)と黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC_{m7}の場合なら、



のように押します。

★コードを変える時、指を鍵盤から離さずに動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離した上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★自動伴奏の場合は、低音側の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

★上記のコード以外は、次のように置き換えて押してください。

- MaJ7(メジャー セブンス)
- aug(オーギュメント)
- dim(ディミニッシュ)
- 6th(シックス)
- sus4(サスフォー)
- メジャーコード
- m7-5(マイナー セブンス
フラット ファイブ)
- m6(マイナー シックス)
- マイナーコード
- 7sus4(セブンス サスフォー)
- 7-5(セブンス フラット ファイブ)
- セブンスコード

⑦ パートオフ操作

自動伴奏を鳴らしている場合でも、パートごとに、音を鳴らすか鳴らさないか指定できます。鳴らしたくないパート音に該当するボタンを押してください。



ボタン左上のランプを消灯させることにより、そのパート音を鳴らすことをやめさせることができます。

⑧ 演奏の終了

演奏を終了します。なお、自動伴奏は、ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押すと終了します。

シングルフィンガーコード一覧表

検出できるシングルフィンガーコードの一覧表です。
これら以外は、前ページで示したように置き換えて押してください。

メジャーコード

そのコード名の鍵盤を押します。

C	
C [♯] /D [♭]	
D	
D [♯] /E [♭]	
E	
F	
F [♯] /G [♭]	
G	
G [♯] /A [♭]	
A	
A [♯] /B [♭]	
B	

マイナーコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。

Cm	
C [♯] m/D [♭] m	
Dm	
D [♯] m/E [♭] m	
Em	
Fm	
F [♯] m/G [♭] m	
Gm	
G [♯] m/A [♭] m	
Am	
A [♯] m/B [♭] m	
Bm	

セブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。

C ₇	
C [#] ₇ /D ^b ₇	
D ₇	
D [#] ₇ /E ^b ₇	
E ₇	
F ₇	
F [#] ₇ /G ^b ₇	
G ₇	
G [#] ₇ /A ^b ₇	
A ₇	
A [#] ₇ /B ^b ₇	
B ₇	

マイナーセブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。

Cm ₇	
C [#] m ₇ /D ^b m ₇	
Dm ₇	
D [#] m ₇ /E ^b m ₇	
Em ₇	
Fm ₇	
F [#] m ₇ /G ^b m ₇	
Gm ₇	
G [#] m ₇ /A ^b m ₇	
Am ₇	
A [#] m ₇ /B ^b m ₇	
Bm ₇	